

Ⅳ-ⅱ-6. 【意識啓発活動および広報活動】

(1) 交流サロン

1) 平成23年度第1回交流サロンの実施

文部科学省科学技術人材育成費補助金
女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）
「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」

平成23年度 第1回交流サロン

信頼を築くコミュニケーション術～気持ちを聴く・気持ちを話す～

① 概要

【日時】：平成23年6月22日（水）15：00～17：30

【会場】：岡山大学創立五十周年記念館2階会議室

【参加者】：学生・教職員および一般

【主催】：岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室

② 内容

6月22日に「信頼を築くコミュニケーション術～気持ちを聴く・気持ちを話す」と題し、平成23年度第1回交流サロンを開催した。今回は広島大学等で非常勤講師を務めるかたわら、岡山市男女共同参画推進センター「さんかく岡山」等で心理専門相談員としてご活躍中の市場恵子氏をお招きして講演会並びにワークショップを開催した。

ワークショップでは職場や家庭における様々な人間関係において必要とされるコミュニケーションについて学び、参加者同士で実践練習を行った。講師の歌や手話を交えての進行により、終始和やかな雰囲気漂うサロンとなった。



学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン

平成23年度第1回交流サロンアンケート／参加者45名中23名より回収(回収率51%)

- 1 本日の交流サロンの全体について、感想をお聞かせください。
 - ア. 参加してよかった。 (23人)
 - イ. どちらともいえない。 (0人)
 - ウ. 参加しない方がよかった。 (0人)→ウの理由を具体的にご記入ください。
()
- 2 今回のなかで、印象に残ったお話しや内容をご記入ください。
 - ・人の話を聞くとき、心から興味を持って聴くこと、心がけます。また、自分を好きになること、自分をもっと認めてあげたいと思いました。
 - ・自己表現のこつ
 - ・ワークショップで皆さんと話せた事。
 - ・自分の事を説明するとき、簡単なクイズを出し合うことが、会話をする上ですごい効果があることが分かりました。
 - ・人の話を“聴く”ということ。
 - ・話を“聴く”ときのコツです。
 - ・肩の力を抜いていいんだと強く思いました。自分自身を見つめ直す時間が持てました。楽になりました。
 - ・聴く、という前半の部分が特に印象に残りました。
 - ・初対面の色んな方々とお話ができたことが大変よかったです。
 - ・申し訳ないと思わずに「ノー」と言える権利、断り上手、頼み上手になること。
 - ・ロールプレイが選択肢を増やすという話なるほどなと思いました。
 - ・ワークショップが印象に残りました。
 - ・基本的な口の権利や4つのコミュパターン。
 - ・「ノー」ということ。
 - ・いのちの歌
 - ・歌と手話が楽しかったです。ありがとうございました。
 - ・歌がよかったです。
 - ・人の話を「聴く」ことについて
 - ・「ことわられ上手」は「頼み上手」になる。
 - ・「私は・・・」という表現を心掛ける。

3 ご参加いただいたあなたは、次のア～エのどれに当たりますか。

- | | |
|------------|------|
| ア. 教員 | (4人) |
| イ. 職員 | (3人) |
| ウ. 学生 | (9人) |
| エ. その他 () | (7人) |

4 このイベントをどこでお知りになりましたか？

- | | |
|------------|------|
| ア. 掲示ポスター | (6人) |
| イ. ホームページ | (4人) |
| ウ. メールでの案内 | (7人) |
| エ. 知人より案内 | (6人) |
| オ. その他 () | (2人) |

3 その他、ご意見等があればお聞かせください。

- ・貴重な時間が過ごせてよかったです。
- ・忙しい日々の中で、ホッとする時間をありがとうございました。
- ・ロールプレイにもう少し時間があればと思いました。
- ・ありがとうございました。

平成23年度 第1回交流サロンポスター・ちらし

文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）」
学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン

本年度第1回目の交流サロンは、職場の上司と部下、同僚同士、教員と学生、夫と妻などの様々な関係において必要とされるコミュニケーションの方法について学び、スキルを高めることを目的として開催します。
子どもが病気になる時、どのように職場の上司や同僚に自分の状況を伝えれば、気兼ねなく休むことができるでしょうか？また、あなたは人の話をどのように聴けばよいでしょうか。このようなことについて参加者みんなが考え、簡単な練習をしてみませんか？

平成23年度 第一回

交流サロン

「信頼を築くコミュニケーション術」
「気持ち聴く・気持ちを話す」

日時 6月22日（水）
15時00分～17時30分

プログラム

- 15:00～ 開会挨拶および講師紹介
- 15:10～ 講演
- <休憩16:10～16:25> -----
- 16:25～ ワークショップ
- 17:25～ 閉会挨拶

講師プロフィール

市場 恵子氏
(心理専門相談員・広島大学等非常勤講師)



岡山理科大学や広島大学等で社会心理学等の非常勤講師を務めるかわら、岡山市男女共同参画推進センター「さんかく岡山」や広島大学霞キャンパス「ハラスメント相談室」等で心理専門相談に従事。岡山県内外での講演・研修・相談員養成講座・スーパービジョンの講師経験も豊富。
本年度は男女共同参画室企画の教養教育科目「社会人のためのプレリユード：望ましいライフスタイルの実現のために」の講師の一人として招聘。

会場：岡山大学創立五十周年記念館2階大会議室
入場無料・当日参加可（事前参加申し込みにご協力下さい）

お申込み・お問い合わせ先
岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室
〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL&FAX: (086) 251-7011
E-mail: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

**託児あり
無料**
(要申込)
6/15(水)締切



主催：岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室



Ⅳ-i-6 (1)

2) 平成23年度第2回交流サロンの実施

文部科学省科学技術人材育成費補助金
女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）
「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」

平成23年度 第2回交流サロン
医療従事者として生きるということ

① 概要

【日時】：平成23年10月21日（金）18：30～19：30

【会場】：岡山大学医学部保健学科棟204講義室（鹿田地区）

【参加者】：学生・教職員および一般

【主催】：岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室

【共催】：岡山大学大学院保健学研究科，岡山大学医療人キャリアセンターMUSCAT

② 内容

10月21日に大学院保健学研究科，医療人キャリアセンターMUSCATとの共催で平成23年度第2回交流サロンを開催した。「医療従事者として生きるということ」と題し，医療従事者が知っておきたいことについて，近い将来医療従事者となる学生と教員，医療従事者，患者等，様々な立場の方とが語り合う場を提供した。

34名の参加があり，“女性が育児をしながら働くということについて”，“なぜ医療系学部を選んだのか”，“医療従事者として働く中で生じる仕事への意識変化”など様々な意見を出し合う事ができた。特に，10年後の医療に期待する事については，“日本だけでなく世界においても医療へのアクセスがより円滑になるように”，“コメディカルの予防医学への進出を期待する”，“医療技術が進む中においても人が対象である限り「心」を忘れないでほしい”，と言った意見が出された。サロンの終わりに，参加者からいただいたアンケートには，“多くの方がコミュニケーションの必要性を強く感じていたことが印象的だった”などの感想が寄せられた。



学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン

平成23年度第2回交流サロンアンケート／参加者34名中23名より回収（回収率68%）

1 本日の交流サロンの全体について、感想をお聞かせください。

- ア. 参加してよかった。 (22人)
- イ. どちらともいえない。 (0人)
- ウ. 参加しない方がよかった。 (1人)

→ウの理由を具体的にご記入ください。

()

- ・一人の方が話し続け、聞く耳を感じなかった。有意義だったとは言い難いため。
- ・多様のコメディカルがしっかり仲よくひらいてね。MD アンダーソンセンターのよう
に集約的、横断的なチーム医療を。
- ・SP 模擬患者研修会でコミュニケーションをならって。

2 今回のなかで、印象に残ったお話しや内容をご記入ください。

- ・相互理解もコミュニケーションも相手の心をしっかり考えないとできないと思いました。
- ・班で話す時間に先輩方からとても貴重なお話をして頂きました。女性が働くということや、海外ボランティアのことなど、すごく参考になりました！！
- ・コミュニケーション。
- ・10年後予防を感がえる医療になってほしい。いろいろな職種の具体的なことが聞けました。
- ・グループ内にいらっしゃった先輩にコミュニケーション能力は慣れと先輩を見て真似ることだと言われた事。
- ・コメディカルも患者と関わる仕事なので、患者の気持ちを考えたハートのある技術者として働きたいと改めて考えるようになりました。
- ・10年後（将来）における医療現場の理想像について、学生や仕事をしている人の立場や職によって意見も異なりおもしろかったです。
- ・学生生活の中では、知り得ない患者さんからの要望を聞いてよかったと思いました。いろいろな立場からの意見は自分にはなかった考え方で新鮮でした。
- ・まず心が大切というお話が印象的でした。
- ・どうしてその専攻を選んだかや患者様の意見等が聴けて良かった。“心”や“コミュニケーション”を大切に（重要に）患者様に接していこうと思う。
- ・医療従事者の将来像。
- ・患者側から医療従事者に求められること。
- ・多くの方々がコミュニケーションの大切さや予防医学の大切さをおっしゃっていました。私は学生なので未来の医療について考えていきたいです。

- ・ どういった形で今の専攻を選んだのか。
- ・ 患者さんへの接し方。ハートが大事。
- ・ 疾患に対するコミュニケーション。
- ・ 多くの方がコミュニケーションの必要性を強く感じていた事が印象的だった。
- ・ 医療従事者になった理由。
- ・ 10年後の医療現場について思うこと。
- ・ SPを初めて聞きました。
- ・ コメディカルのような職種の方のお話が聞いて良かった。医療職に女性が増えていること、育休・復職制度も整い働き続ける女性が増えたこと。心強いです。
- ・ ハート、コメディカルの協力。
- ・ コメディカル交代制もリンパマッサージ、ガン患者のマッサージ、入院がいい
- ・ サルコーマセンターのゆうち。多数の患者に対応できる。
- ・ 患者の立場からの意見がよく分かった。不快な思いをしたことが多いと、何を言っても信用を得るのは難しい。そのような思いをさせないためきちんとコミュニケーションをとる必要があると思った。

3 ご参加いただいたあなたは、次のア～エのどれに当たりますか。

- | | |
|------------|-------|
| ア. 教員 | (4人) |
| イ. 職員 | (2人) |
| ウ. 学生 | (14人) |
| エ. その他 () | (3人) |

4 このイベントをどこでお知りになりましたか？


- | | |
|------------|-------|
| ア. 掲示ポスター | (3人) |
| イ. ホームページ | (0人) |
| ウ. メールでの案内 | (2人) |
| エ. 知人より案内 | (13人) |
| オ. その他 () | (1人) |

3 その他、ご意見等（今後期待するテーマ、開催日時や曜日など）あればお聞かせください。

- ・ 貴重な時間が過ごせてよかったです。
- ・ 忙しい日々の中で、ホッとする時間をありがとうございました。
- ・ ロールプレイにもう少し時間があればと思いました。
- ・ ありがとうございました。

平成23年度 第2回交流サロンポスター・ちらし

文部科学省科学技術人材育成費補助金「女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）」
学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン



平成23年度 第2回 交流サロン

医療従事者として 生きるということ

日時 2011年10月21日(金)
18:30~19:30

概要

医療系学部の学生である「あなた」。
未来の医療従事者として「これからかなえたいこと」はなんですか？
医療従事者として働いている「あなた」。
「あの時こうしておけばよかった」、「後輩に伝えておきたい」ということはありませんか？


平成23年度第2回の交流サロンは、医療従事者が知っておきたいことについて
近い将来、医療従事者となる学生と教員、医療従事者、患者等
様々な立場の方が語り合う場を提供します。

対象者：学生・教職員および一般
会場：岡山大学鹿田キャンパス 医学部保健学科棟204講義室
岡山市北区鹿田町2丁目5番1号

お申込み・お問い合わせ先

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室
〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL&FAX: (086) 251-7011
E-mail: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

当日参加可
なるべく事前参加
申し込みにご協力
ください。



主催 岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室
共催 岡山大学大学院保健学研究科
岡山大学医療人キャリアセンターMUSCAT

IV-i-6 (2) 第3回中国四国男女共同参画シンポジウムの実施

文部科学省科学技術人材育成費補助金
女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）
「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」
第3回中国四国男女共同参画シンポジウム
女性研究者が活躍する大学～支援ネットワークの強化を目指して～

1) 概要

【日時】：平成23年11月11日（金）

シンポジウム 13:30～17:50

／情報交換会 18:00～19:30

【会場】：岡山コンベンションセンター（ママカリフォーラム）1Fイベントホール
（岡山市北区駅元町14番1号）

【参加者】：教職員・学生および一般

【主催】：岡山大学／後援：岡山県・岡山市

【プログラム】：

開会（13:30～）
司会 前川 幸枝（岡山大学総務・企画部人事課 課長）
開会の辞（13:35～）
許 南浩 （岡山大学ダイバーシティ推進本部長 岡山大学理事〈企画・総務担当〉・副学長）
特別講演（13:35～）
「女性研究者の現状と中国四国地区大学への期待」 板倉 周一郎 氏（文部科学省 科学技術・学術政策局 基盤政策課 課長）
基調講演（14:15～）
「女性研究者支援ネットワーク構築の現状と課題：三重県における事例報告」 鈴山 雅子 氏（三重大学 男女共同参画コーディネーター・客員教授）
事例紹介（15:10～）
広島大学 坂田 桐子氏（男女共同参画推進室長）
島根大学 澤 アツ子氏（男女共同参画推進室長）
香川大学 長安めぐみ氏（男女共同参画推進室 副室長・コーディネーター）
徳島大学 本仲 純子氏（AWAサポートセンター長）

愛媛大学 小島 秀子氏（女性未来育成センター長） 岡山県 岡野 千鶴氏（県民生活部男女共同参画青少年課 課長） 岡山大学 富岡 憲治氏（ダイバーシティ推進本部男女共同参画室 副室長）
ポスター・セッション（16：30～）
全国の大学および地方自治体の取組
パネル・ディスカッション（17：10～）
<p>テーマ：「女性研究者が活躍する大学とは」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■パネリスト：事例紹介発表者 ■コメンテーター：講演講師 ■コーディネーター： 沖 陽子（岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室長）
学長共同宣言文の紹介（17：40～）
森田 潔（岡山大学長）
閉会挨拶（17：45～）
沖 陽子（岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室長）

2) 実施内容

11月11日、女性研究者の支援と男女共同参画の推進をめざす「第3回中国四国男女共同参画シンポジウム」を、岡山市内で開催した。本シンポジウムは、中国四国地区における女性研究者支援を推進し、地方の活性化につなげていく意識の共有を目指して平成21年度より開催されており、第1回は広島大学、第2回は島根大学の主催で開催されている。

当日は中国四国地区の大学、岡山県、岡山市の担当者ら106人の参加者があった。板倉周一郎文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課長に「女性研究者の現状と中国四国地区大学への期待」と題し特別講演、三重大学の鈴山雅子男女共同参画コーディネーターに基調講演をいただき、各大学と岡山県から取組事例の紹介を行った。続いて実施した、パネル・ディスカッションでは、沖陽子岡山大学男女共同参画室長がコーディネーターとなり、地域、大学間連携の可能性などについて意見交換した。

最後に、中国四国地区の国立10大学の学長を代表し、森田潔岡山大学長から、取組の継続と発展を宣言する「中国・四国地区国立大学の男女共同参画推進のための共同宣言」を行った。

学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン

第3回中国四国男女共同参画シンポジウムアンケート

／参加者106名中41名より回収（回収率39%）

質問1 本日のシンポジウムは全体としていかがだったでしょうか。

- | | |
|--------------|-------|
| 1. よかった | (36人) |
| 2. 普通 | (4人) |
| 3. あまりよくなかった | (0人) |

質問2 本日のシンポジウムは以下の各項目についていかがだったでしょうか？

A.特別講演「女性研究者の現状と中国四国地区大学への期待」

- | | |
|--------------|-------|
| 1. よかった | (29人) |
| 2. 普通 | (10人) |
| 3. あまりよくなかった | (0人) |

[意見]

- ・板倉課長の私見はとても参考になった。
- ・文科省が男女共同参画についてどうとらえているのかが知りたかった。
- ・学童保育が学内にできるのはとても必要だ。

B.基調講演「女性研究者支援ネットワーク構築の現状と課題：三重県における事例報告」

- | | |
|--------------|-------|
| 1. よかった | (33人) |
| 2. 普通 | (7人) |
| 3. あまりよくなかった | (0人) |

[意見]

- ・関心をもっていたとりくみの実際を知ることができた。
- ・とても地域の方をとり入れ開かれた大学です。素晴らしいです。

C.事例紹介

- | | |
|--------------|-------|
| 1. よかった | (12人) |
| 2. 普通 | (24人) |
| 3. あまりよくなかった | (2人) |

[意見]

- ・多くの大学で育児支援・研究支援システムが整備されているのを知り、勇気づけられました。
- ・時間が短い。

- ・各大学が様々な取組をしている様子がわかった。男女共同参画が前進している感じがした。
- ・レジメのなかった所があり残念。

D.ポスター・セッション

- | | |
|--------------|-------|
| 1. よかった | (27人) |
| 2. 普通 | (9人) |
| 3. あまりよくなかった | (1人) |

[意見]

- ・参加者の意見がもう少し聞きたいと思いました。
- ・パネラーの方のものの考え方や実情などがよくわかりとても参考になった。
- ・もっとネットワークの話をしてほしかった。
- ・質問にこたえていただいたのがよかった。
- ・短い時間の中で闊達な意見交換がなされ、有意義だったと思います。
- ・地域連携は大切そして皆なでシェアしなくちゃ。良いこと、悪いこと、評価判定を発表して下さい。

C.パネル・ディスカッション

- | | |
|--------------|-------|
| 1. よかった | (12人) |
| 2. 普通 | (24人) |
| 3. あまりよくなかった | (2人) |

[意見]

- ・時間が少なく、ゆっくりと見ることができず残念でした。
- ・もう少し質疑応答の時間が欲しかった。
- ・配置があまりよくなくて見にくかった。
- ・時間が短かった。

質問3 本日のシンポジウムの感想をご自由にお書き下さい。

- ・各地のとりくみを表でまとめていただけるとありがたいです。
- ・パネル・ディスカッションでは質問もたくさん出され、形式だけでは終わらない、実質的な内容のあるシンポジウムだったと思います。
- ・タイムキープがしっかりしていてよかったです。事例がたくさん並んだということ自体に価値があったのではないのでしょうか。
- ・初めて参加し、各大学の取組を実際に見たり聞いたりできたことは、今後の私の所属する大学での取組方を考える上で参考になりました。
- ・私はサポートを受ける側ですが、様々な角度から手厚い支援が用意されつつあることが

わかり、心強いです。また、所属する学会で学生に向けた若手交流会の開催にもかかわっており、学生への啓発活動という点について地域や企業との連携等、参考になる点が多々ありました。

- ・ いろいろとご配慮いただきありがとうございました。短い時間で参考になるお話を拝聴できました。
- ・ 各大学・機関の事例紹介がポイントをしばって紹介され、とても参考になりました。時間が10分ずつと短いように思われましたが、多くの事例を連続して発表されるので聞く側にとっても丁度よい長さと思いました。同じような取組をされているにもかかわらず違いがあり、興味深く拝聴しました。
- ・ パンフレットやパネル・ディスカッションよかったです。なお、事例紹介は、4件程度（特に目立つもの？）にしばったほうがなお、良かったと思います。（ポスターもあるので）
- ・ 事例紹介が多い。4件程度。質問への回答ではパネル・ディスカッションではないのではないか。長すぎる。
- ・ プログラムがてんこもりで聞く方はしんどい。もっとシンプルにして。
- ・ 他の大学の取組の様子がよくわかってよかった。
- ・ 国として今後も推進の方向であること、各大学でそれぞれの事業に合わせた事業を展開されていることも、相互に参考になったと思う。いずれも費用が伴うことであるので支援が必要であると思う（国からの）
- ・ 連携のメリットなどを知りたかったので参加しました。その点がすこしものたりなかったと思います。
- ・ 豊富な事例が拝聴でき、大変参考になりました。
- ・ 女性大学院生が研究者へ進む道として、自大学の取組は比較的、目に見えて来ますが、自分の出身地にある大学の取組も見えると、更に選択肢が広がります。各大学の取組が一覧できるポータルサイトの様なものが出来れば良いかと思います。
- ・ 他大学のとり組がわかって自大学の取組の位置がわかってよかった。
- ・ 女性大学院生や博士号を持った女性を女性研究者というような印象をうけた。様々な立場で研究に携わる人も視野に入れてほしい。
- ・ 「意識」が高まるよいシンポジウムだった。
- ・ 全体的に少し速かったが、その分多くの大学の取組を知ることができ、比較できて良かった。働きたい、研究者になりたいと思う女性が働きやすくなることをまずは目指さなければならないが、働きたい、研究者になりたいと思う女性をふやすために、現在働いている女性がロールモデルとなれるよう、次につながっていく支援を意識する必要があると改めて思った。
- ・ 事例紹介の各々の時間が極端に短すぎるように思います。講演者の方に十分なお話をして頂ける時間があれば、内容もより深く理解できるものになるのではないのでしょうか。
- ・ 他大学の具体的な実施内容をお聞きし、とても参考になりました。
- ・ 他大学の取組を知ることができてよかった。GP&BPをシェアしながら中四国大学の男女共同参画をいっそう推進し、充実していければと思った。
- ・ 他大学の事業ショウサイがとてもよくわかった。
- ・ 他大学の取組や地域との連携などの情報を聞いて役に立ちました。

- ・ 一般人の元NSですが、男女参画は、とても地域住民にとって、声を発信できる場所です。ありとあらゆる場所、部所、セクションに皆をまきこんで社会全体がすみやすく、成長発展できますように、一般人をどんどん参加させてください。

質問4 今後、シンポジウムで取り上げてもらいたい内容や話を聞いてみたい講師等があればご記入ください。

- ・ テーマ別、キャリア開始とか、管理職登用とか。
- ・ 上手くいかなかった取組もききたい。
- ・ 大学と企業が連携してできる男女共同参画事業はあるか？
- ・ 女性の雇用等大学以外の機関での女性を活用されている事例などを紹介して頂くと参考になると思います。
- ・ 事業の立ち上げ方、流れをくわしく知りたい。
- ・ 企業で働く女性研究者の話。
- ・ ハラスメントに関する話題を盛り込んで、啓発強化につなげてほしい。
- ・ 女性研究者が研究に専念できるように環境作りを積極的にされていると思いますが、その具体例、実際の利用等の状況、問題点などについて広く取り上げて頂きたいと思います。

質問5 本日のシンポジウム開催の情報をどのような形で知りましたか？

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. Eメール | (11人) |
| 2. ちらし・ポスター | (7人) |
| 3. ホームページ | (2人) |
| 4. 岡山大学職員から | (17人) |
| 5. その他 () | (5人) (新聞記事) |

質問6 あなたについて教えてください。

- | | |
|-----------|-------|
| 1. 岡山大学職員 | (21人) |
| 2. 大学関係者 | (17人) |
| 3. 学生 | (0人) |
| 4. 一般 | (3人) |

第3回中国四国男女共同参画シンポジウム ポスター・ちらし

文部科学省科学技術人材育成補助金
「女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）」

学部・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン

Symposium

第3回中国四国男女共同参画シンポジウム

女性研究者が活躍する大学 ～支援ネットワークの強化を目指して～

とき 2011年11月11日 [金]
シンポジウム 13:30～17:50 情報交換会 18:00～19:30

ところ 岡山コンベンションセンター
1F イベントホール
「ママカリフォーラム」岡山市北区駅元町14番1号



シンポジウム

開会挨拶 13:30～ 許 南浩（岡山大学ダイバーシティ推進本部長 岡山大学理事〈企画・総務担当〉・副学長）

特別講演 13:35～ 「女性研究者の現状と中国四国地区大学への期待」 文部科学省 科学技術・学術政策局基礎政策課

基調講演 14:15～ 「女性研究者支援ネットワーク構築の現状と課題：三重県における事例報告」
鈴山 雅子氏（三重大学 男女共同参画コーディネーター）

休憩 14:55～15:10

事例紹介 15:10～

広島大学 坂田 桐子氏（男女共同参画推進室長）
島根大学 澤 アツ子氏（男女共同参画推進室長）
香川大学 長安めぐみ氏（男女共同参画推進室 副室長・コーディネーター）
徳島大学 本仲 純子氏（AWAサポートセンター長）
愛媛大学 小島 秀子氏（女性未来育成センター長）
岡山県 岡野 千鶴氏（県民生活部男女共同参画青少年課 課長）
岡山大学 富岡 憲治氏（ダイバーシティ推進本部男女共同参画室 副室長）

ポスターセッション 16:30～
発表予定：全国の大学及び地方自治体

パネル・ディスカッション 17:00～
テーマ：「女性研究者が活躍する大学とは」
■パネリスト：事例紹介発表者
■コメンテーター：講演講師
■コーディネーター：沖 陽子（岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室長）

学長宣言文の紹介 17:40～ 森田 潔（岡山大学長）

閉会挨拶 17:45～ 北尾 善信（岡山大学理事〈財務・施設担当〉・事務局長）

情報交換会 18:00～19:30 [立食形式] **会場** 同イベントホール **参加費** 5,000円（要予約11/4締切）

- 託児あり【無料】
※要申込 10/27 締切
- シンポジウム参加費無料
- 当日参加可
※なるべく事前参加
申込にご協力ください

お申し込み・お問い合わせ先

 国立大学法人 岡山大学ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室
岡山市北区津島中一丁目1番1号
TEL・FAX 086-251-7011 E-Mail sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp



主催 国立大学法人岡山大学 **後援** 岡山県・岡山市

第3回中国四国男女共同参画シンポジウムパンフレット（表紙）

文部科学省科学技術・人材育成費補助金「女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成）」

Symposium

第3回中国四国男女共同参画シンポジウム
女性研究者が活躍する大学
～支援ネットワークの強化を目指して～

2011年11月11日[金] 13:30～17:50
岡山コンベンションセンター
国立大学法人岡山大学 岡山県・岡山市

プログラム

シンポジウム

開会挨拶 13:30～ 許 南浩
(岡山大学ダイバーシティ推進本部長 岡山大学理事(企画・総務担当)・副学長)

特別講演 13:35～ 「女性研究者の現状と中国四国地区大学への期待」
板倉真一郎 氏 (文部科学省 科学技術・学術政策局基礎政策課 課長)

基調講演 14:15～ 「女性研究者支援ネットワーク構築の現状と課題:三重県における事例報告」
鍋山 雅子 氏 (三重大学 男女共同参画コーディネーター)

休 息 14:55～15:10

事例紹介 15:10～
広島大学 坂田 桐子 氏 (男女共同参画推進室長)
鳥取大学 津 アツ子 氏 (男女共同参画推進室長)
香川大学 長安めぐみ 氏 (男女共同参画推進室 副室長 コーディネーター)
徳島大学 本仲 純子 氏 (AWAサポートセンター長)
愛媛大学 小島 秀子 氏 (女性未来育成センター長)
岡山 岡野 千鶴 氏 (県民生活部男女共同参画青少年課 課長)
岡山大学 富岡 聖治 氏 (ダイバーシティ推進本部男女共同参画室 副室長)

ホステスセッション 16:30～
全国の大学及び地方自治体の取り組み

パネルディスカッション 17:00～
テーマ:「女性研究者が活躍する大学とは」
■パネリスト:事例紹介発表者
■モデレーター:講演講師
■コーディネーター:沖 陽子 (岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室長)

学長御書文の紹介 17:40～ 森田 潔 (岡山大学長)

閉会挨拶 17:45～ 沖 陽子 (岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室長)

情報交換会
18:00～19:30 [会場] イベントホールにて [参加費] 5,000円 (申し込みは無料でした。)



Ⅳ-i-6 (3) 第2回男女共同参画に関する管理職セミナー

1) 趣旨

男女共同参画に関する管理職セミナーは、管理職に対する男女共同参画に関する意識啓発および男女共同参画および女性研究者支援を巡って大学が置かれている現状に関する情報提供を目的として、実施している。第2回男女共同参画に関する管理職セミナーは、第1回（平成22年9月10日実施）に続き実施した。

2) プログラム

【日 時】：平成23年6月15日（水）

11:00～12:00

【場 所】：本部棟第一会議室（6階）

【対 象】：管理職員

【内 容】：

講演 「九州大学における男女共同参画推進の取組について」

講師 倉地 幸徳 氏（九州大学理事(副学長) 国際・男女共同参画担当）

質疑応答

司会 根岸 友恵 大学院医歯薬学総合研究科 准教授

3) 概 要

許南浩ダイバーシティ推進本部長による開会挨拶の後、沖陽子男女共同参画室長より本学における男女共同参画の取組について報告があった。引き続き倉地氏が約40分間にわたり九州大学における男女共同参画の現状および取組に関する講演を行った。主な内容は次の通り。

- ・学内保育施設の設置
- ・教育および学生の研究活動への支援
- ・大学改革推進経費に関するインセンティブ
- ・優秀な若手人材の定着・雇用促進に関する取組
- ・女性研究者の研究助成制度
- ・ポイント制による部局人員管理方式を活用した女性枠ポストの設定による女性教員増を目指す取組

講演後、根岸友恵准教授（大学院医歯薬学総合研究科）の司会により約30分間質疑応答が行われた。

講演終了時に実施したアンケートでは、回答者全員がセミナーへの参加について「とても有意義だった」あるいは「まあまあ有意義だった」と回答し、かなりよい評価を受けた。

また、次回以降もテーマや日程に関わらず参加したいという積極的な態度を示す者は42.4%を占めた。アンケートでは参加の動機も尋ねたが、管理職の過半数（複数回答で27名（60%））が管理職の義務として講演に参加したことが明らかになった。ただし、男女共同参画一般に関心があったとする者も20名と相当数あり、関心は決して低くないといえる。なお、当日は61名の管理職員が出席した。




倉地 幸徳 氏
(九州大学理事(副学長) 国際・男女共同参画担当)



質疑応答


配布資料

文部科学省科学技術人材育成推進事業「女性研究者研究活動支援事業」(女性研究者支援センターの設置)
学部・国大発 女性研究者が育つ進化プラン



第2回 男女共同参画に関する 管理職セミナー

日時 平成23年6月15日(水) 11:00-12:00
場所 本部棟6階 第一会議室



ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

— プログラム —

本セミナーでは、男女共同参画において先進的な取り組みを進めてこれに当大学のさらなる発展の立役者をお見せし、これまでにの取り組みの経過、成果、課題、将来展望などについてお話を聞かせていただきます。本セミナーが本学に於ける新たな共同参画推進に大きなお力となることを願っています。

現在、大学には、学部・学域に於ける女性参画の拡大、性別に関わらず活躍の場を設けるような教育や学修機会の充実など、一層の取り組みが求められています。管理職の皆様には、現状を十分に把握され、本学の将来的発展を見据えて、男女共同参画に関する取組を高めていくことととも、日頃の業務遂行に役立てていただくことをお願いしております。

11:00	開会の挨拶	許 由浩	ダイバーシティ推進本部長 理事(企画・総務担当)・副学長
11:05	本学における男女共同参画の取り組み	神 陽子	男女共同参画室長 環境管理センター教授・大学院環境学研究所兼務
11:10	九州大学における男女共同参画推進の取り組みについて	倉地 幸徳 氏	九州大学理事(国際・男女共同参画担当) 副学長・女性研究者キャリア開発センター長
11:50	質疑応答		
12:00	閉会の挨拶	北尾 西信	理事(財務・施設担当) 事務局長

司会：細岸 友恵
男女共同参画室長(出席・意識啓発推進部長)
大学院環境学総合研究科(兼)准教授

— 講師のご紹介 —



倉地 幸徳 氏
国立大学法人 九州大学
理事(国際・男女共同参画担当)
副学長
女性研究者キャリア開発センター長

ご経歴

- 昭和40年 2月 九州大学工学部卒業
- 昭和42年 3月 九州大学大学院農学研究所博士課程修了
- 昭和45年 3月 九州大学大学院農学研究所博士課程修了
- 昭和45年 4月 九州大学工学部助手
- 昭和45年 10月 ワシントン大学医学校生物化学科 Senior Fellow
- 昭和47年 1月 ワシントン大学医学校生物化学科 Senior Fellow
- 昭和49年 7月 ワシントン大学医学校生物化学科 Senior Fellow
- 昭和50年 7月 ワシントン大学医学校生物化学科 Senior Research Associate
- 昭和53年 7月 ワシントン大学医学校生物化学科 Research Assistant Professor
- 昭和58年 7月 ワシントン大学医学校生物化学科 Research Associate Professor
- 昭和58年 11月 ハーバード大学医学校講師(ワシントン大学と兼任)
- 昭和61年 8月 ミシガン大学医学校人類遺伝学 Associate Professor
- 平成2年 9月 ミシガン大学医学校人類遺伝学 Professor
- 平成13年 1月 独立行政法人 産業技術総合研究所 シーンディスプレイ研究センター長
- 平成14年 1月 ミシガン大学医学校人類遺伝学 Professor Emeritus
- 平成14年 7月 独立行政法人 産業技術総合研究所高齢化生命科学工学研究センター長
- 平成22年 1月 国立大学法人 九州大学 理事・副学長

平成23年度 主な活動予定

6月22日(水)	平成23年度 第1回交流サロン ◇「産研を楽しくコミュニケーション術～気持ちよく・気持ちよく話す～」 ◇ 講師：市橋 恵子 氏(心理専門相談員・広島大学等非常勤講師) ◇ 場所：創立五十周年記念館2階会議室 【第2回交流サロンは10月頃実施予定】
7月21日(木)	次世代女性研究者育成事業 第1回 講演会 ◇「自然科学に魅せられて」 ◇ 講師：江口 律子 大学院自然科学研究科 助教 御典 典穂 大学院自然科学研究科 助教 三森 榮見季 農産物科学研究所 助教 ◇ 場所：東学部中講義室(2号館2階) ※第1回「マン・ア・マン」トークセッションもあつた。研究をこなすための「産研」の重要性、研究活動について講演します。
9月5日(金)	平成23年度第1回研究スキルアップ講座 ◇「研究力3倍増強計画～産性を高めれば学費賞がとれる～」 ◇ 講師：塚本 真也 大学院自然科学研究科 教授
11月11日(金)	第3回 中国西陲男女共同参画シンポジウム ◇ 場所：岡山コンベンションセンター(マカリアフォーラム)
12月20日(火)	女性研究者研究活動支援事業 総括報告会 ◇ 場所：創立五十周年記念館2階会議室 ※本年度は文部科学省科学技術人材育成推進事業「女性研究者研究活動支援事業(女性研究者支援センター発足)」(学域・国大発 女性研究者が育つ進化プラン)の最終年度となります。

*その他 おかやまサイエンス・トーク(中学・高校への研究紹介)、「岡山大学人材登録バンク」登録説明会、研究支援員事業に関する意見交換会等の実施を予定しています。

お問い合わせ

ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室
TEL&FAX : 086-251-7011
E-MAIL : sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp
URL : http://www.okayama-u.ac.jp/user/jm/diversity/taanpo/index.html